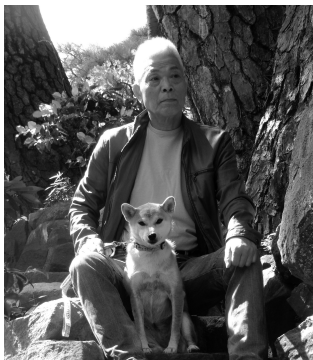




愛犬「みかん」と。
写真提供・佐伯泰英事務所

毎日「仕事」と「散歩」

初めて会う方から「お忙しいでしょう」と聞かれることがある。まあ、世間の習慣、決まり文句の挨拶といったらそれまでだが、この十数年

の来し方を承知で案じられるニュアンスもないこともない。
当人は、時代小説に転じて生活のサイクルが定まり、毎朝早く起きて一日分の仕事を繰り返してきただけなので、多忙なのかどうなのか意識はない。私の執筆の源は、体調不良から二日酔いや体調不良では一日分がこなせない。ゆえに決まりきった暮らしの中でリズムを作り上げてきて、「毎日仕事」がいちばん精神の安定することが分かった。

佐伯通信

2014年11月(平成26)
第24号
発行
佐伯泰英事務所
担当/角川春樹事務所
禁・無断転載

佐伯泰英／近刊のお知らせ

2015年 2月 6日発売予定	2015年 1月 5日発売予定	2014年 12月 12日発売予定	2014年 11月 28日発売予定
『願かけ』(仮)	『白鶴ノ紅』 〔佐伯通信〕第25号が入ります。 (初版の初回出荷分にのみ挟み込み)	『失意ノ方』	『たそがれ歌麿』
新・古着屋総兵衛 9	居眠り磐音 江戸双紙 48	居眠り磐音 江戸双紙 47	新・古着屋総兵衛 9

近刊・作品情報はここでもチェックできます。

<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト

【お知らせ】10月9日より「時代小説200冊記念トップページ」にいたしました。どうぞ高覧ください。

2014年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)角川春樹事務所、(株)双葉社、(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋、(株)講談社

201冊目へ

株式会社春樹事務所 書籍編集部 原 知子



「鎌倉河岸捕物控」シリーズの第1弾『橘花の仇』が刊行されましたのが、2001年3月。それから13年、御蔭さまで25冊目『新友禅の謎』を、佐伯さんの時代小説文庫の201冊目としてお届けすることができます。

「松坂屋」の手代であった政次は、立派な10代目になり、「豊島屋」に奉公していたしほは、今や一児の母です。本作では、事件を解決するために、政次・八百亀・弥一が、空っ風とかかあ天下で有名な上州へ旅に出ます。

ラスト近くの「打ち出の小づちは、てめえのところにあったのか」という言葉は、私たちに、大切なことを語ってくれているように思えてなりません。

今後とも、本シリーズをよろしく願いいたします。

チェック用に便利！
巻末に「全作品リスト」がつけました！

各社の全シリーズの書名リストです。「鎌倉河岸捕物控」シリーズでは今後、「佐伯通信」が挟み込まれるときの巻末に最新版の「全作品リスト」を掲載していく予定です。



佐伯泰英

『鎌倉河岸捕物控』一の巻～二十五の巻

ハルキ文庫

文庫時代
25冊年鑑

朝の一仕事のあと、飼犬のみかんの散歩を済ませ、朝湯に入って我流の筋トレとストレッチを湯の中で十八分から二十分行う。それと一日二万歩を歩くことを課している。最近携帯電話の歩数計から専用のそれに換えた。パソコンと連動してそれほど面倒な手続きもなく、一日の記録が自動的に転送される。

その記録を見ていた娘が、「お父さんの記録は二十数万人のうち、四千番台よ」と教えてくれた。いやいや、なんでも数値化されて尻を叩かれる。そのせいではないが、起伏のある敷地の庭で歩数を稼ごうとしたツケが右膝にきて、痛みが出た。なんでも過ぎたのは及ばざるが如しの響えどおり、この一月膝痛に悩まされ、急に順番も下がったそう。

祝！
文庫書下ろし時代小説
佐伯泰英
200冊

「佐伯通信」第25号は、1月5日刊行予定の『白鶴ノ紅 居眠り磐音 江戸双紙48 双葉文庫』に入ります。

出版社からのお知らせ

佐伯泰英の好評シリーズ！

居眠り磐音 江戸双紙 古着屋総兵衛影始末
鎌倉河岸捕物控 新・古着屋総兵衛
交代寄合伊那衆異聞 密命
長崎総領通吏辰次郎 酔いとれ小藤次留書
夏目影一郎始末旅 新酔いとれ小藤次
秘剣 吉屋裏同心

二十五年鑑